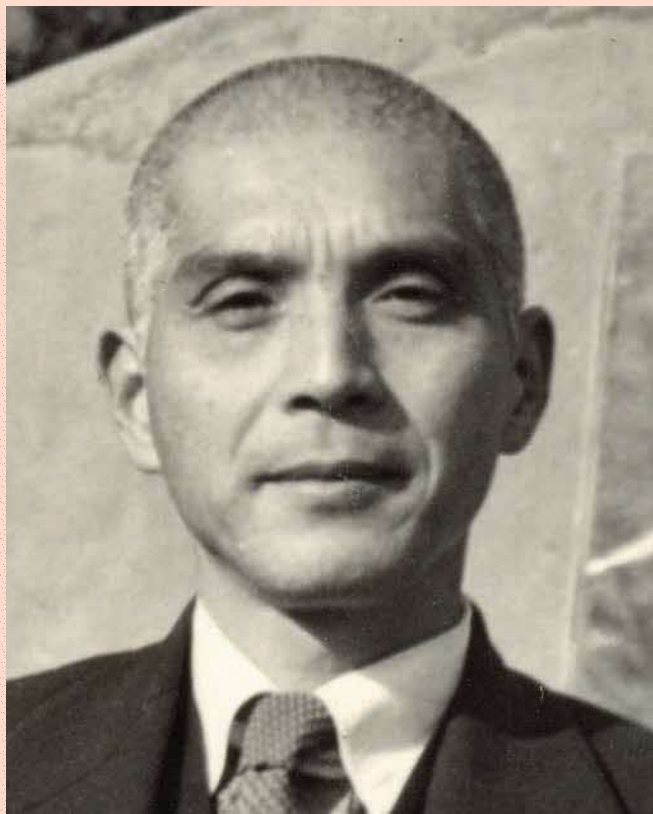


小川五郎

山口市
(1902～1969)

小川五郎は、山口中学校に入学した頃から短歌を始め、『防長新聞』歌壇の常連となると共に、県内の短歌誌に参加。京都大学卒業後、母校山口高等学校教授として考古学、郷土史の研究を行うと共に、短歌を中心とした文芸活動を進める。昭和八年、県内の短歌仲間と相い計り、総合歌誌『水可美』を創刊。昭和初期の山口県下短歌活動のリーダーとして活躍した。昭和二十一年以降は県内の高等学校校長として教育に専念すると同時に、山口県短歌史の体系化、国木田独歩研究などに積極的に取り組んだ。(小川 信)

【主な著作】

『国木田独歩と山口』(昭和15年)

歌集『春蘭』(共著、昭和44年)

『防長文化史雑考』(小川五郎先生遺文集刊行会、昭和45年)